

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月21日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2025年12月27日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校(日本語名) College of Staten Island of the City University of NewYork (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 8月下旬～12月下旬 2学期: 3学期: 4学期:
学生数	9290人
創立年	1976年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 156 円)	B 日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	8682.72	1,371,292 円	
食費	1260	198,982 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	60	9,475 円	
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0 円	
旅費(留学中)	949.83	150,000 円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	296.09	46,760 円	形態: 大学からの紹介
渡航旅費	1799.17	284,130 円	
ビザ申請費	316.61	50,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	13365.03 (=2,110,639 円)	2,110,639 円	
総計(A+B) ※円		2,110,639 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大使館のメールをチェックし、デモが行われる日は外出を控えた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なく繋がった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本の銀行口座に入金してもらい、それに紐付けたクレジットカードで支払いを行なった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

クレジットカード: タッチ決済対応のもので複数枚あると良いと思う。レンジでパスタが茹でられる容器: 他の日本人留学生が使っていて、便利そうだった。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: インターンシップ形式の授業は履修できなかった		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Advertising		広告
科目設置学部・研究科	Marketing	
履修期間	秋学期	
単位数	4	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 115 分が 2 回	
担当教授	Dr.Robert Allen	
授業内容	広告がどのようにマーケティングに活用されているか	
試験・課題等	クラス内でグループが割り当てられ、そのメンバーと協力して毎週課題を行う	
感想を自由記入	グループ内でディスカッションを行うこともあり、最初はそれについて行くことが難しかった。教授が明るい人で楽しかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Psychopathology	精神病理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に115分が2回
担当教授	Daniel Kaplin, PhD
授業内容	精神病の原因と治療法について
試験・課題等	5回ミニテストがあり、それと期末レポートで成績が出る
感想を自由記入	医療用語が出てくるので、新たに覚える単語が最も多く、かなり難しかった。クラスの雰囲気は活発でとても良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Theories of Personality	人格論
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に230分が1回
担当教授	Evie Falda
授業内容	人格形成の要因と理論について
試験・課題等	毎週課題が出され、オンライン形式での試験がある
感想を自由記入	授業では資料などを一切使わず、教授が話し続けるため、わかりづらく退屈だった。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

マイナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

IT、メーカー業界の営業系総合職

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

3年次での留学だったため、就活のことは常に頭の片隅にあった。夏、秋・冬インターンはどうしても参加できない企業が出てくることもあるが、オンラインで参加可能なものは極力参加した。留学出発前に夏インターンにも参加していたため、何社かは早期先行ルートに乗ることができている。またポスキャリアに参加し、内定をいただくこともできたので就活の出遅れは感じていない。うまくバランスを取って留学と就活を両立できれば就活への悪影響は少ないと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	説明会参加、試験勉強
	8月～9月	試験の受験、プログラムへの応募
	10月～12月	面接
留学開始年	1月～3月	大学からメールでビザの発行案内、寮の申請フォーム
	4月～7月	ビザの手続き、航空券の購入、予防接種
	8月～9月	ビザの面接、寮費の支払い
	10月～12月	中間試験、ボスキャリ、期末試験、レポート
留学/帰国年	1月～3月	単位認定手続き、留学レポート作成
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は留学を通して英語力を向上させたかったことと、一学期間という短い期間で多くの人やアメリカ文化に触れるチャンスが多いという点からニューヨークを選んだ。学内では毎週イベントが開催されており、それらに参加することで、友達を作ることができた。初めのうちは積極的に参加するのをお勧めする。特に International Coffee Hour というイベントでは、国際的な交流をしたい生徒が参加しているので、簡単に友人や知り合いを作ることができた。そこをきっかけに、交友関係が広がり始めたあたりから留学が楽しくなってきたように思う。留学という貴重な機会をフルに活用して、これまで自分がやったことのないものに、どんどん挑戦してみると良いと思う。